Art History - Part 2

- 左目のアート vs. 右目のアート? -

講演: 西村　一（JAMSTEC）、アバター名：Yan Lauria
参加者: アカーシャ (AkashaKokuu), 有羽 (Alha Iwish), Arianne (ArianneJP), Beragon Betts, ダン (DanHayase), Fumon Crystal, くにか (Kunika Yoshikawa), Wisdomseeker (Lissena), Lunnna Capalini, Lyr Lobo, Max Chatnoir, ryofuz Quan, Tagline Resident, 知世 'ともよ' (Tomoyo Newall), Talliver Hartnell, Timmy (Whitewand)
主催者: Jawsome (Jes Cobalt), Chantal Jager (Nymf Hathaway), The Science Circle

Yan: 今日は英語と日本語で話します。 英語で適切なアート用語を見つけるのにずいぶんと時間がかかってしまいました。 その結果、このプレゼンテーションを 1 ヶ月延期してもらっています。Arianne さんは私が言いたい言葉を見つけるのを手伝ってくれました。RL の近所の友人である Pat さんにも助けてもらっています。

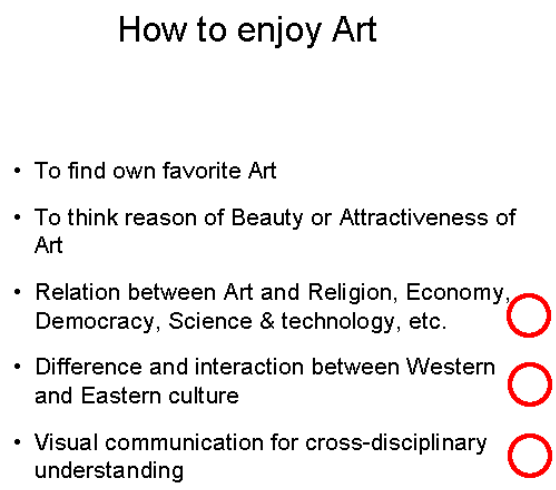
Yan:私はアートの専門家ではありませんが、この博物館は専門分野を超えた議論のために作ったこともあり、アートについて話すことに躊躇はないのですが、英語でリアルタイムにディスカッションするのは難しいので、コメントや質問はローカルチャットに入力しておいてください。その場で読む余裕がないと思うので、後でチャットログをちゃんと読んで必ずお答えするようにします。

Yan: あとで、今日のチャットログにすべてのスライド、私の声の原稿、そして皆さんのコメントへの回答を加えたものをお送りします。

[08:05] Chantal: You are doing great!

[08:05] Wisdom: wonderful!

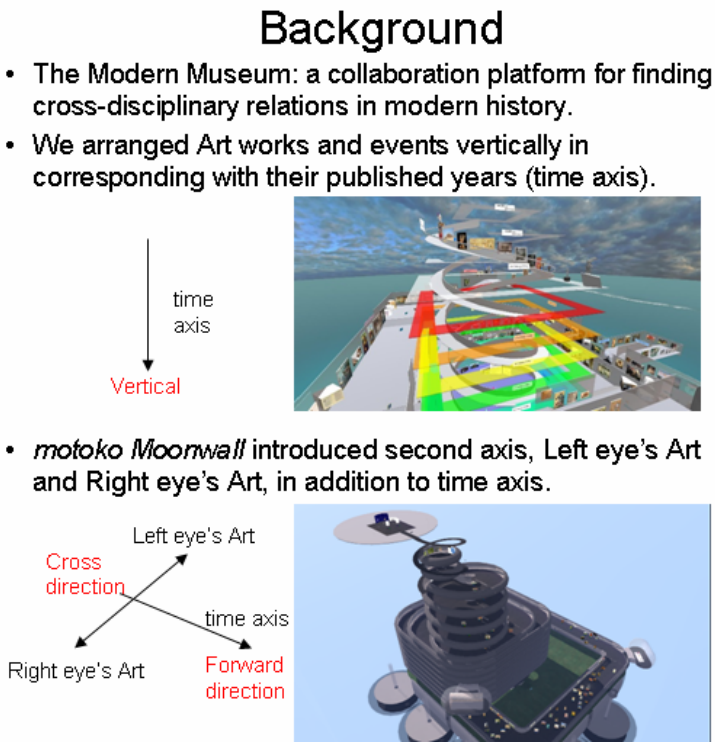
(How to Enjoy Art)



Yan: 最初に、アートをどう楽しむのかについて話したいと思います。 アートを楽しむ方法はたくさんあります

- 自分の好きなアートを見つける。 これは誰にとっても出発点です。 そうしたら次は自分の好きなアートを誰かと共有したいと思うようになります。 通常は失敗しますが、時には共感してもらえることもあります。
- 次に、アートの美しさや魅力を考える。 とても面白いテーマですが、今日は話す時間がありません。
- アートと宗教、経済、民主主義、科学技術などの関係について考える。これはこの美術史博物館を作った目的でもあります。
- 西洋と東洋の文化の違いと相互作用を考える。これは今日のプレゼンの主なテーマです。
- 視覚化を使ってさまざまな分野間のコミュニケーションについて考える。 これは私が教育のために SL の利用に取り組んでいる理由です。

(Background)



Yan: 次に今回の取り組みの背景を話します。 最初は、コメットさんと一緒に、近代史における分野を超えた関係を見つけるための協働プラットフォームとして、「近代博物館」というのを作りました。これは、ピカソ、アインシュタイン、ストラヴィンスキーという、奇妙な物理学、奇妙な絵画、そして奇妙な音楽の創始者であった彼らの誕生年が凄く近いことにインスピレーションを得たものです。

Yan: これには理由があるに違いない。 それを証明するために、私たちはアート作品とその年に対応する様々なイベントを高さ別に並べました。

Yan: もとちゃさんは、様々なアートと様々な文化の関係を見つけるには、これだけでは不十分だと考えて、時間軸に加えて、左目のアートと右目のアートという2つ目の軸を導入しました。

Yan: ですが、彼女はそれを完成させる前に、肺がんで亡くなりました。 彼女のお母さんは博物館を完成して欲しいと希望され、私は彼女の意図を見つけるために何度も彼女の部屋を訪れました。

[08:07] Arianne: We miss Motoko, today she is with us.

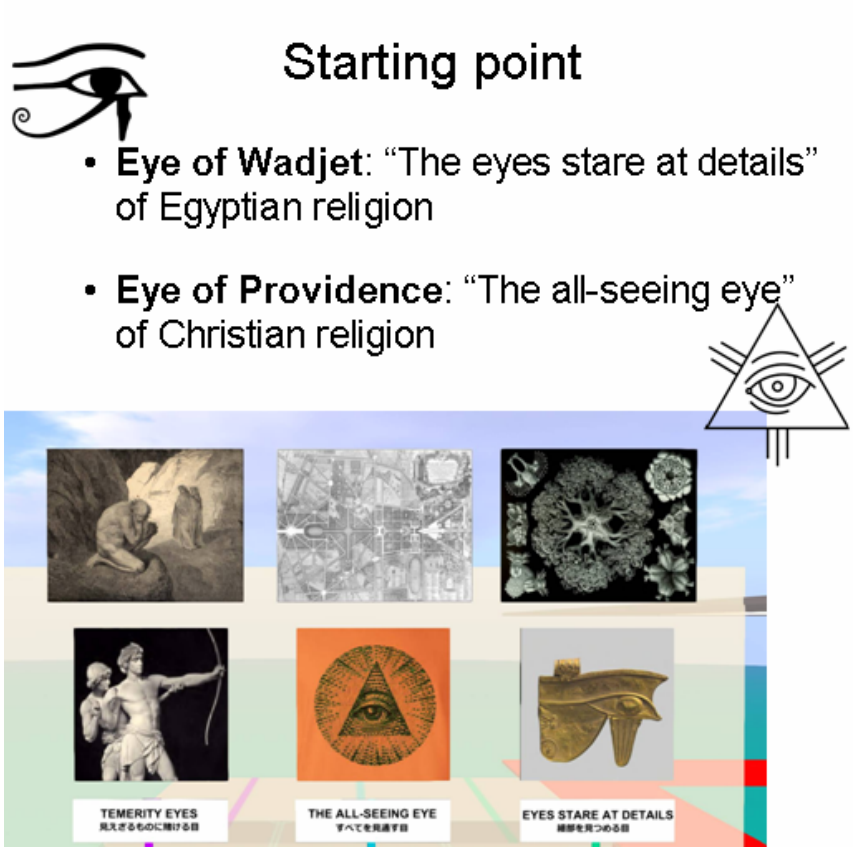
[08:15] Wisdom: So good that you are celebrating her legacy

[08:16] Lyr Lobo: /me nods and smiles

[08:17] Arianne: Motoko must be happy in heaven. Yan has been taking care of her left mother a lot.

[08:17] Wisdom: :))

(motoko's starting point)



Yan: 彼女は最初に、次のような定義を作りました。

左目のアート：エジプトの宗教の細部を見つめる目（ウジャトの目）

右目のアート：キリスト教の全てを見通す目（プロビデンスの目）

[08:18] Fumon: Trinity in Christianity (キリスト教の三位一体論)

（Yan: The equilateral triangle that surrounds the eyes of Providence must mean the trinity of Christianity.）

Yan: 実は、第 3 の目がありますが、今日これについては話しません。

(Mannerism vs. Classicism)

Mannerism vs. Classicism? (1/5) ✕

Heinrich Wölfflin, "*Principles of Art History*", 1915

Left Eye's Art (Baroque)	**Right Eye's Art** (Renaissance)
Painterly	Linear
Recession	Plane
Open (a-tectonic) form	Closed (tectonic) form
Unify	Multiplicity
Relative clarity	Absolute clarity

https://en.wikipedia.org/wiki/Heinrich_W%C3%B6lfflin

Yan: 次に、彼女はこれを 2 つの美術史家の分類に関連づけました。

一人はハインリッヒ・ヴェルフリンです。

この定義を説明するのはとてもムリなので、ウィキペディアを読んでください。

https://en.wikipedia.org/wiki/Heinrich_W%C3%B6lfflin

多分読んでも分からないと思いますが。.

ウェルフフリンの定義は、いささか古く、印象派をぜんぜん考慮していないし、東洋美術に限られています。

[08:10] Fumon: I think "Orientalism" by Edward Said is the good book.

(Yan: https://en.wikipedia.org/wiki/Orientalism_(book), Eward W. Said. "Orientalism", 1978 ／エドワード・サイード「オリエンタリズム」、平凡社、1993)

Baroque vs. Classicism? (2/5) ✕

Gustav René Hocke, "*The World As a labyrinth: Manners and mania in European art*", 1957

Left Eye's Art (Mannerism)	**Right Eye's Art** (Classicism)
Nature, Figurative	Idea, Structure
Concealment, Instability	Surfaced, Equilibrium
Decomposition, Freedom	Overall, Dignity
Artful, Rebellious	Natural, Order
Distortion, Secret, Dismantling, Occultism	Form, Logos, Curing, Dogmatics

Yan: もう一人はグスタブ・フーケです。もとちゃさんによると、フーケはモダンアートをある程度考えていたようです。これはドイツ語で書かれ、日本語で翻訳されていますが、まだ英語の翻訳はないと思います。 だからこれらの英語があってるのかどうかもわかりません。

[08:20] Arianne: https://de.wikipedia.org/wiki/Gustav_Ren%C3%A9_Hocke

[08:20] Chantal: Only in German huh

[08:21] Arianne: Jawohl (Yes Sir)

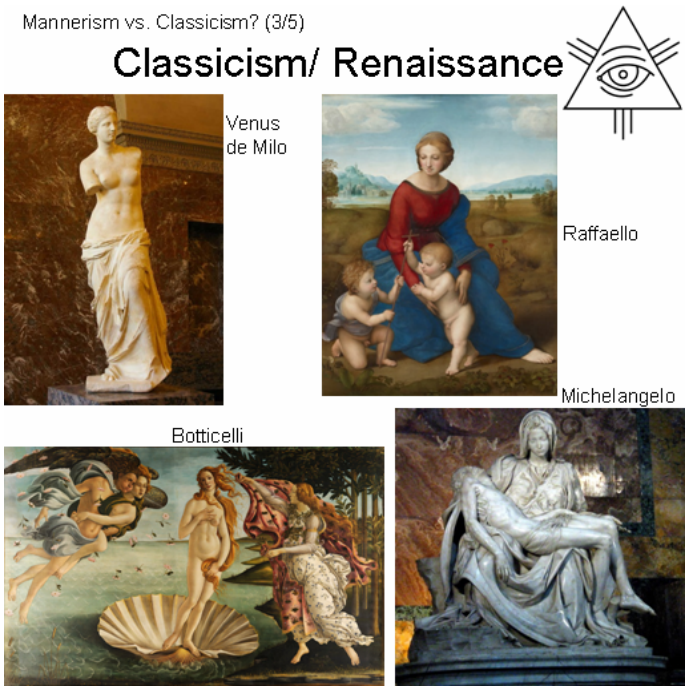
[08:21] Chantal: and tjech (Czech)

[08:21] Wisdom: translation available into English

[08:21] Chantal: true that :))

Yan: もとちゃさんは、これら２つの定義を組み合わせて、もとちゃ美術館の入口に掲示しています。ところが多くの問題があって、次にそれらについて話します。

(Classicism/ Renaissance)



Yan: ここで、代表的な作品をお見せします。

これは古典主義とルネッサンスのアート作品です。もとちゃさんはこれらを右目のアートと考えました。多くの方はこれらの作品から永遠の美しさというのを感じるんじゃないでしょうか。

[08:23] Chantal: :))) I like your top one :))

(Mannerism/ Baroque)

Yan: 次がマニエリスムとバロックのアートです。 もとちゃさんはこれらを左目のアートと考えました。体がねじれていて、ダイナミックです。

(Mystery of Classicism)

Mannerism vs. Classicism? (5/5)

Mystery of Classicism

-Is Ancient Greek Art really ideal?-

- Greek gods/goddesses are so unrestrained.
- Christians in Europe hoped Ancient Greek is their roots to see white sculptures and architectures of ancient Greek.
- But recent reconstruction shows ancient Greek sculptures and architectures were more colorful.
- In 1930s, Greek sculptures in British Museum were scraped away some of the detailed tone in the cleaning process (or intentionally?).

Yan: この「マニエリスム vs. 古典主義」という評価軸にはいくつか問題があります。まず「古典主義」ですが、これは古代ギリシャ美術をアートの理想と考えるもので、もとちゃさんはこれを「右目のアート」に位置づけたはずです。

ところが、もとちゃさんは、古代ギリシアの代表的作品である"ミロのヴィーナス"と "サモトラケのニケ"を反対の左側に置いています。

なぜ左側なんだろう？

・キリスト教の厳格な神と比較して、ギリシャの神々と女神はとてもスキャンダラスです。

・日本の歴史家（藤村シシン）は、ヨーロッパのキリスト教徒若しくは白人が古代ギリシャの白い彫刻や建築を見て、自分たち起源が古代ギリシャであって欲しいと願ったと書いています。

・しかし、最近の復元によると、古代ギリシャ彫刻と建築はけっこうカラフルだったらしい。

・1930 年代、大英博物館のギリシアの彫刻は、クリーニングの過程で色調の一部が削られました。その時、世間の人々は大英博物館が意図的にそうしたと考えて、大きなスキャンダルになったようです。

Yan: 真実は分かりませんが、少なくとも、古代ギリシャのヘレニズム時代、この時代に "ヴィーナス・デ・ミロ"と "サモトラケのニケ"が作られているのですが、このヘレニズム時代にギリシャの芸術はより自然でダイナミックになりました。

これらは今日の目から見ればずいぶんと控えめに見えますが、失われた腕やカラフルな塗料をイメージしてください。意外に体はねじれていてダイナミックです。だから左側に置くのもありえます。

[08:25] Wisdom: Are left eye and right eye concepts related at all to brain hemispheres?

(Yan: No. I intend to exclude factors derived from the brain function from definition of Left eye and right eye.)

(Various Hypothesises)

Various hypothesises for 2nd Axis

Non-geometric vs. **Geometric**
Stereoscopic vs. **Planar**
Realistic vs. **IDEAlized**
Unstable/ Dynamic vs. **Stable/ Eternal**
Emotional vs. **Logical**
Dramatic vs. **Modest**
Diversified vs. **Unified**

Derived from;

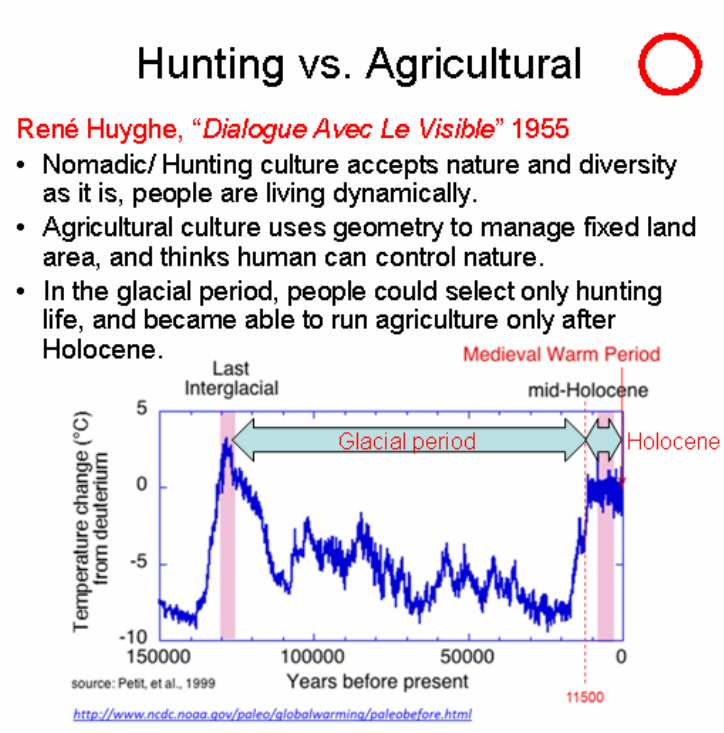
Hunting culture vs. **Agricultural culture**
Polytheistic vs. **Monotheistic**

Yan: このため、私は「マニエリスム vs. 古典主義」という軸を一旦棚上げにして、このスライドのように、「左目と右目」についての新しい座標軸の候補をリストアップしました。

基本的に、これらはすべて互いに独立していて、この数だけ座標軸が必要なんですが、いくつかは互いに関連しているかもしれません。

これについて次にお話します。

(Hunting vs. Agriculture)



René Huyghe, "*Dialogue Avec Le Visible*" 1955

Yan: この本は千ページ以上あり、もとちゃさんの机に置かれていました。 しかし、下線や付箋がいっさいなく、彼女のそんくすの日記でもこの本については何も書いていませんでした。 彼女は町の図書館から借りた本についてはメモをたくさん残していますが、自分が持っている本については何も書き残していません。このため、この本が彼女の美術館の重要なヒントになってたことをしばらく見逃していました。

Yan: ユンゲによると、

·狩猟・採取文化は自然と多様性を受け入れ、人々は動的に生きている。

·農耕・牧畜文化は固定された土地を管理するために幾何学を使い、人間は自然を制御できると考えている。

Yan: ユンゲは、古典主義がなぜ幾何学に異様に執着しているかを説明するためにこれを書いています。もとちゃさんは、地球史にも興味を持っていて、アビス海文台に地球と生命の進化についての展示を作っていたので、当然のことながら、彼女は気候と農業の関係を知っていたはずです。

Yan: 氷期には、人々は食物を探すために遠距離を移動する必要がありました。1 万年前、気候は暖かく安定し、数千年前には海面上昇も終わりました。それ以来、人々は固定された土地に滞在し、農業を始めることができるようになりました。

Yan: ここで、私は、「人間の思考の仕方は氷期の記憶を覚えているかもしれない」という仮説を考えてみました。これは、もとちゃ美術史美術館に相応しいと思います。

[08:35] Arianne: https://en.wikipedia.org/wiki/Ren%C3%A9_Huyghe

[08:36] Wisdom: This is such an interesting possible connection!

[08:36] Wisdom: Reading Sapiens right now

(Brain's unconscious response)

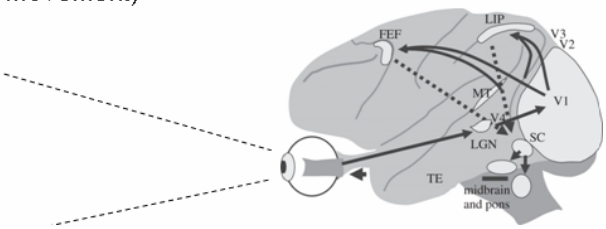
Neurophysiology (1/4)

Donis A. Dondis, "*A Primaer of Visual Literacy*", 1973

Semir Zeki, "*INNER VISION: An Exploration of Art ant the Brain*", 1999

Visual cortex/ 視覚野 of human brain recognizes visual images unconsciously;

- Color (ratio between red, green and blue cones of retina/ 網膜の錐体)
- Vertical lines – Horizontal lines
- Inclination of lines (related to stereoscopic and movement)



Donis A. Dondis, "*A Primaer of Visual Literacy*", 1973

Yan: 次に、この本が彼女の本棚の奥から見つかりました。彼女は町の図書館に匹敵するような沢山の本を持っています。 文学、歴史、科学、芸術とデザイン、哲学、心理学…。

Dondis は脳の機能を考慮して視覚的なコミュニケーションについて書きました。 もとちゃさんは大学での心理学と大学でのグラフィックデザインを学び、しばらくの間広告代理店で働いていました。 だから私は彼女が視覚画像に対する人間の脳の反応に興味があったと思う。

Semir Zeki, "*INNER VISION: An Exploration of Art ant the Brain*", 1999

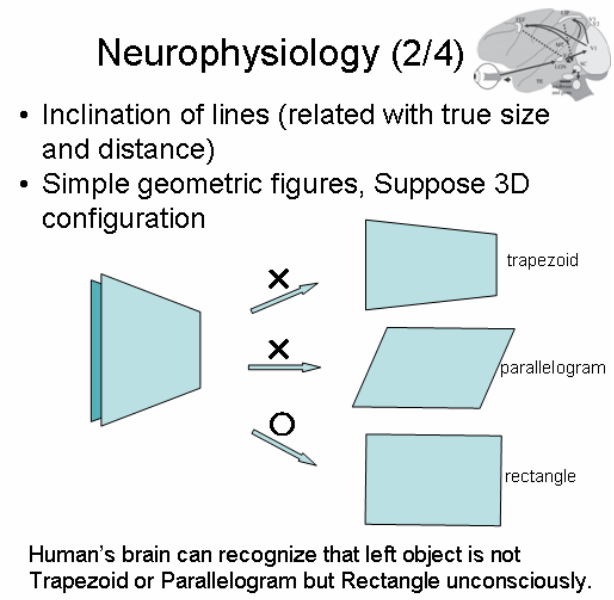
[08:40] Arianne: https://en.wikipedia.org/wiki/Semir_Zeki

Yan: もうひとつ、この本はたぶん彼女は知らなかったと思いますが、この本は、視覚イメージに対する脳の機能について詳細しく書かれています。

これは、脳内の視覚的信号ルートの模式図です。人間がなにか画像を見ると、いくつかの視覚野、V1、V2、V3 …が 視聴画像を認識するために分担して作業します。

[08:43] Arianne: https://en.wikipedia.org/wiki/Visual_cortex

Yan: 「色」が最も速く反応します。次に反応するのが「垂直線」と「水平線」です。 垂直または水平との差異にも敏感です。 傾いた線の認識は、立体視および動きに関係しており、

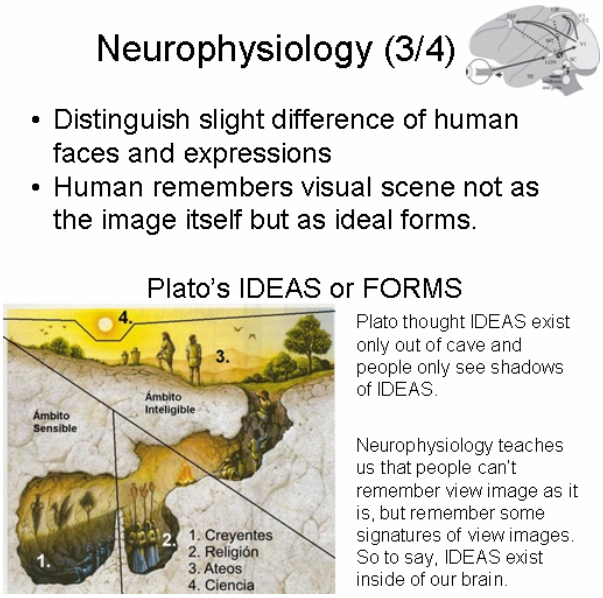


真のサイズと距離も認識します。

Yan: 脳は、また、単純な幾何学的図形、円、三角形、長方形などに刺激されます。そして、脳は 2D 画像から 3D 図形を想像することができます。

たとえば、私たちが通りを歩いているとき、このようなフェンスを見ると、我々はそれが長方形であることを知っています。すべての認識は無意識に行われます。

(IDEAS)

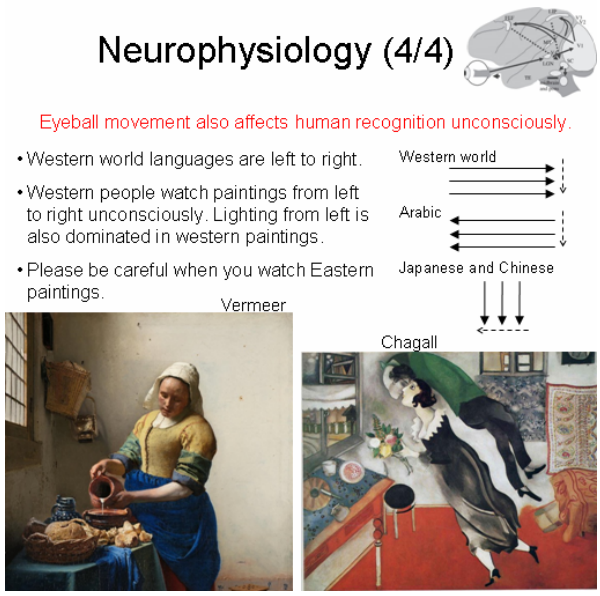


Yan: 脳はまた、人間の顔や表現のわずかな違いを区別することができます。

人間は視覚的なイメージをそのまま覚えることはできません。脳は、覚えるのに適した何らかの特徴に画像を変換します。

Yan: プラトンはイデアは外界にしか存在せず、人々はイデアの影だけを見ていると考えました。 しかし神経生理学は、私たちにはイデアが脳内にのみ存在することを教えています。

(Left to right)



Yan: このスライドはパス。~~This is the last example of brain function.~~

~~Dondis wrote in his book that eyeball movement is relating with the brain function and affects human's recognition of viewing images unconsciously.~~ .

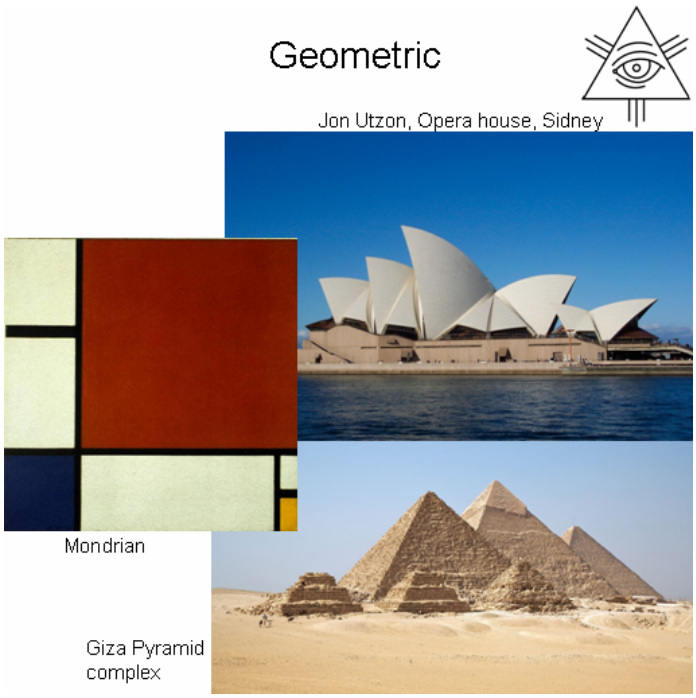
~~•Western world languages are written from left to right.~~

~~•And Western people watch paintings also from left to right unconsciously. Lighting from left is also dominated in western paintings.~~

~~But Arabic is right to left, and Japanese is up to down.~~

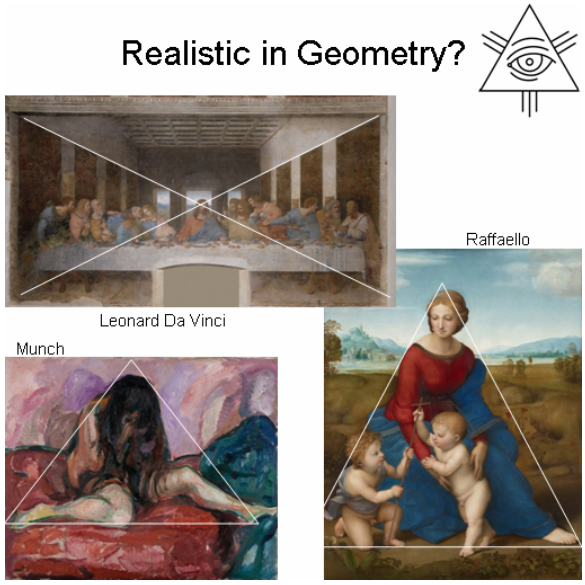
~~•Please be careful when you watch Eastern paintings.~~

(Geometry)



Yan: 次に、神経生理学に基づいて、新しい座標軸候補を再評価することにします。
前に、人間の脳は幾何学図形によって強く刺激されると言いました。モンゴリアンは、脳の色、垂直/水平線と正方形という三種類の脳の反応を利用しています。
人々は古代から現代まで幾何学図形に魅了されています。

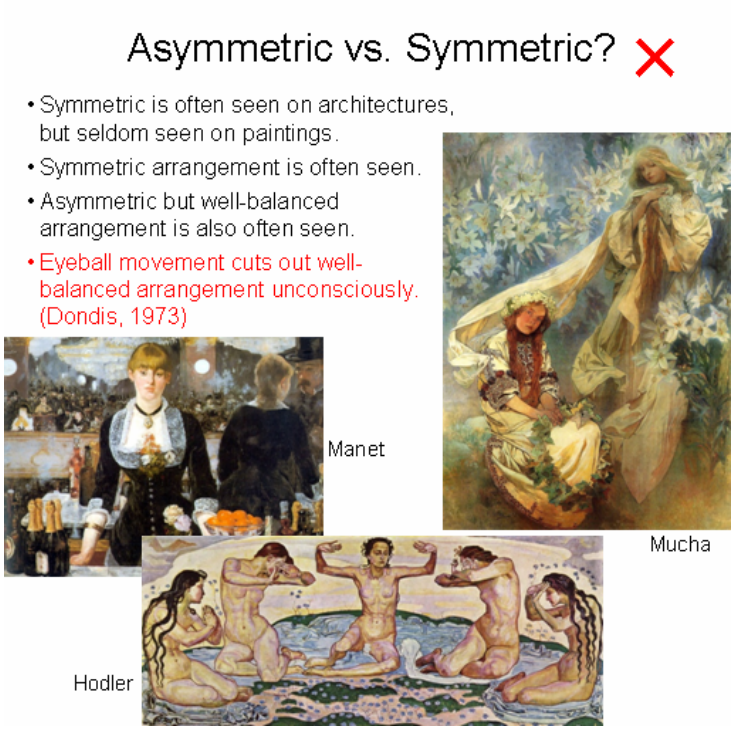
(Realistic in Geometry)



Yan: 古代ギリシアとルネサンスのアートでは幾何学図形に強いこだわりが見られます。 リアリスティックな絵の後ろに幾何学図形が隠れていいるのを見つけるのは、なかなか難しいです。
我々は、脳の機能により、どんな画像からも幾何学的構造を見つける性質があるので、この二等辺三角形が意図的なのか偶然なのか区別することは困難です。
Yan: とはいえ、多くの美術史の専門家は、ルネサンスアートが幾何学図形に執着していると指摘しているので、この評価軸はキープすることにします。

[08:50] Wisdom: So gather left eye and right eye are primarily metaphors
(Yan: Yes)
[08:51] Beragon: what is the title of the munch painting?
[08:54] Chantal: Edvard Munch - Weeping Nude
[08:54] Beragon: ty Chantal

(Symmetric)



Yan: ･対称は建築物でよく見られますが、絵画ではほとんど見られません。

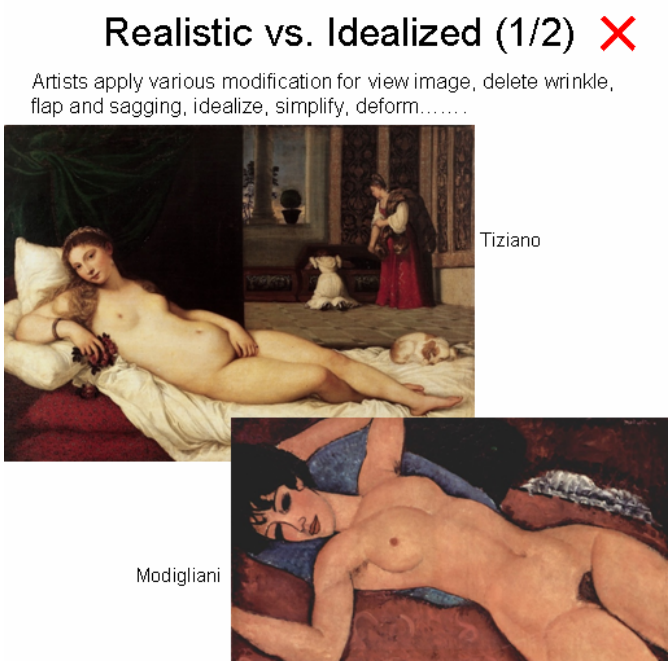
･対称的な配置は絵画によく見られます。

･非対称でですがバランスのとれた配置も、絵画にしばしば見られます。

･Dondis は彼の本で眼球運動が無意識のうちにバランスの取れた配置を切り取ると書いています。

Yan:つまり、対称とかバランスの取れた配置とかは眼球運動に由来する共通的な反応だと思います。ということで、これは左目と右目のアートとは無関係と考えました。

(Realistic vs. Idealized)



Yan: 私は、前に、脳は目にした画像を記憶に適した情報に変換すると話しました。 それを Modificate, deform, transform, symbolize, abstracted, outlined, simplified...どういう英語がいいか困った挙句、プラトンの IDEAS 理論にちなんで "IDEAlize（イデア化）"を使うことにしました。
アーティストは造形する際に様々なイデア化を行います。

Yan: この Tiziano のヌードは非常にリアリスティックに見えますが、Tiziano がしわやたるみを除去したことは待ちがいないと思います。
モディリアーニのヌードは形の輪郭に現実的ですが、ティツィアーノとはかなり違った印象を受けます。

(Face idealization)

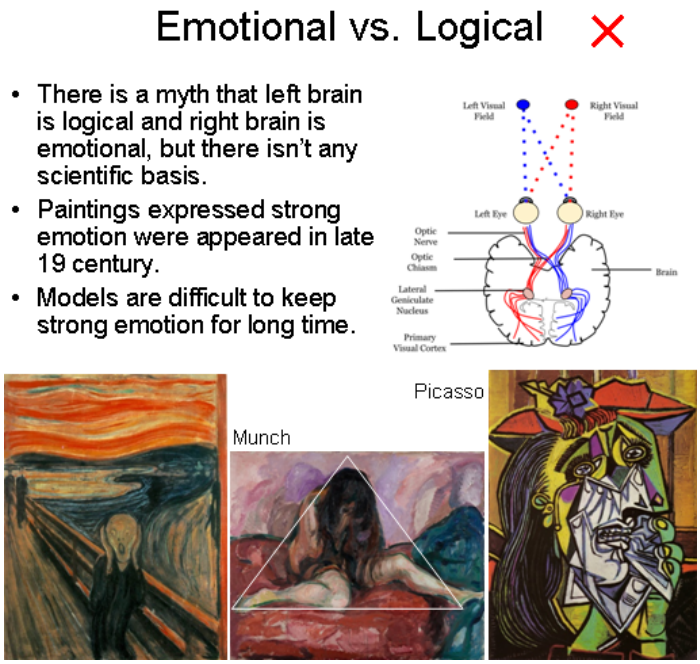
Yan: これは顔のイデア化の例です。 アーティストがひとたび造形すると、その造形自体がひとり歩きし始めます。

Yan: アリアンヌさんは、アーティストはそのような変化を通じて対象に対する印象やアイデンティティを保持していると指摘しています。
だから私は IDEAlized は脳の機能から由来するもので、左目と右目とは関係ないと考えました。

[08:58] Wisdom: on a spectrum from representational（具象） to abstract（抽象） maybe?
（Yan: I agree）

[08:59] Arianne: yes, you are right wisdom.

(Emotional vs. Logical)



Yan: 「左目のアート vs. 右目のアート」について、最初に連想したのは「右脳 vs. 左脳」です。「左脳は論理的」で「右脳は感情的」という怪しげな話があります。 もとちゃさんが右目をプロビデンスの目に結び付けたのはこれが理由だと思います。

言語能力が左脳半球に集中することは知られていますが、感情能力が右脳に偏っているという科学的証拠はありません。

Yan: とにかく、もとちゃ美術館を見回してみると、感情を表現する絵はほとんどありません。 ~~ゴヤは、19 世紀初頭に暗い気分を醸し出す 12 の「黒い絵画」のままです。~~ 強い感情を表現した絵画は 19 世紀後半に登場しました。 もちろん、それ以前の時代にも例外がありますが。

Yan: 感情的な絵画がほとんどない理由は分かりませんが、画家のモデルにとって、長い間強い感情を保つのは難しいことも理由のひとつかもしれません。

(Sense of Wonder/ Sublime)

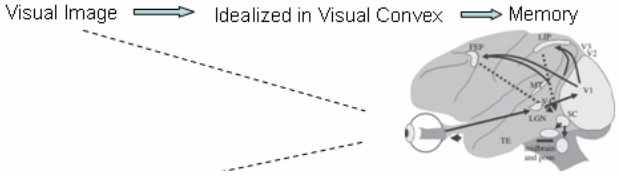
Sense of Wonder/ Sublime

Sublime: The quality of greatness, whether physical, moral, intellectual, metaphysical, aesthetic, spiritual, or artistic. The term especially refers to a greatness beyond all possibility of calculation, measurement, or imitation. (Wikipedia)

Sense of Wonder: a feeling of awakening or awe triggered by an expansion of one's awareness of what is possible or by confrontation with the vastness of space and time ・・・・・・. (Brave New Words: The Oxford Dictionary)

Hypothesis;
- Familiar things are recognized unconsciously.
- But lot of unfamiliar things aren't recognized unconsciously.

Visual Image ⟹ Idealized in Visual Convex ⟹ Memory



Yan: このスライドはパス。~~Another example of emotion: Pyramid isn't related to human emotion, but those who saw it feel a kind of emotion.~~

~~There are two strange emotions different from delight, anger, sorrow and pleasure（喜怒哀楽）. "Sublime (崇高)" and "Sense of Wonder" is defined like this.~~

~~I have a hypothesis about how the brain initiates strange emotion, but no time today.~~

~~In anyway, "emotion" is difficult and It seems that Motoko didn't remark on"emotional Art" very much, so I abandon this axis.~~

(Dramatic vs. Modest)

Dramatic vs. Modest? ✕

- More attractive
- More stimulative
- More gorgeous
- More twisted pose

Dramatic expression will be escalated endlessly like Hollywood movies.

Paolo de Matteis

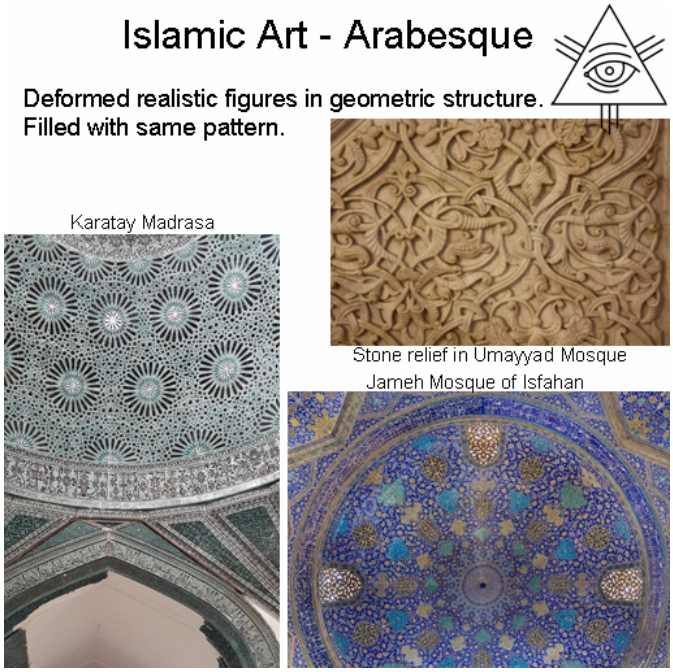
Yan: 「左目 vs. 右目」について次に感じたのは「過剰な演出サービス」です。 どんなに素晴らしい作品でも、繰り返し聴いたり見たりしていたら飽きてしまいます。
継続的に評判を得るために、アーティストはより魅力的で、より刺激的で、より華やかで、より捻じったポーズを作ります... ..ドラマチックな表現は、ハリウッド映画のように無限にエスカレートします。 そして最終的に、彼らは控えめな表現に戻ります。

Yan: だから私は「ドラマチック vs. 控えめな表現」はアーティストの基本的な反応だと思います。私はこの軸をとりあえず無視することにします。 これは、私が「マニエリスム vs. 古典主義」の軸を断念した理由の 1 つでもあります。

[09:03] Chantal: Interesting view, Yan

[09:04] Arianne: it is same in female fashion lol

(Islamic)



Yan: 私のプレゼンは終わりに近づきました。 私は東洋の宗教について話します。
私たちの美術歴史博物館では、パブリックドメインの画像が少なく、著者と出版年についての情報がほとんどないため、東洋のアート作品はほとんど展示していません。

Yan: イスラム教はキリスト教と起源が同じなのに、アートの印象はまったく違っています。 イスラムは偶像崇拝を禁じているため、アーティストは神の姿を描く代わりに、繰り返される文様を幾何学的に配置して視野を満たすことで神の偉大さを表現します。 文様自体は、イデア化された葉やツタなどからなります。このことから、イスラム美術は基本的に幾何学図形に執着する右目のアートと考えられます。

[09:05] Chantal: I wonder where to place Escher

(Yan: motoko didn't place Escher's works in her museum yet. His works are speculative, endless theme, and geometric. So I think Right eye's side.)

[09:05] Wisdom: because cannot show human figure in art?

(Yan: Yes. Koran, top level document, prohibits Iconolatry. So artists avoid to paint not only God but also human which has risk to be seen Iconolatry. Second level document of

Islamic also prohibits to paint living things, but is not so district, so artists paint plants and animals outside of mosque.)

[09:06] Fumon: I think there are close to fractal.

(Yan: Geometry express only static but also infinity using geometric series. So it is difficult to think relation between Geometry and "Way of thinking" or Geometry and "Brain's function".)

[09:06] Wisdom: good guess!

[09:06] Chantal: Good point, Fumon

[09:06] Arianne: We need 3rd eye for Escher lol

(Yan: From another view point, Escher's world can't be seen in real world like Surrealism. Subconscious is new world in mind for Artists in early 20 century. Motoko was thinking 3rd eye- Eyes looking in the unseen.)

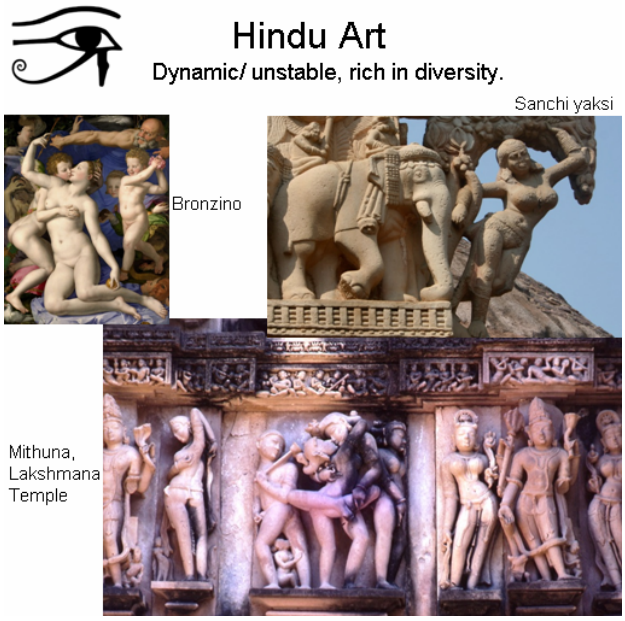
[09:06] Chantal: Think so too

[09:06] Wisdom: true Arianne

[09:06] Beragon: Arabic writing is the most beautiful.

(Yan: Arabic is also often used as a pattern of Arabesque and Islamic Art.)

(Hindu)



Yan: それに対し、ヒンドゥー教のアートは、マニエリスムのようにダイナミックに見えます。 言い換えれば、16世紀には東西の貿易が活発になり、西洋の芸術は東洋の影響を受けていたとも言えます。

[09:08] Chantal: reminds me of the advertisements above the frontdoors of pompeii :))

[09:08] Wisdom: lol

[09:08] Chantal: :))

[09:08] Fumon: ah yes

[09:08] Wisdom: of certain places....

[09:08] Beragon: Hindu mythology has many great stories and characters to inspire art

[09:09] Wisdom: very dramatic stories, Beragon?

[09:09] Beragon: oh yes! the ramayana has a princess captured by a demon and a battle between demons and forest animals °°‿

[09:10] Wisdom: :)

(Filled with detail)

Yan: 視野が詳細な造形で満たされると、不思議な没入感が生じます。 このスタイルはイスラム美術とヒンズー美術の両方で見られ、両方のアートから同じような感情が引き起こされます。 しかし、詳細は異なります。イスラム美術は同じ文様が繰り返されるのに対し、一方、ヒンズー美術では多様な造形で満たされます。すなわち、「視野を細部で満たす」は、脳の反応に起因してどちらの目にも共通の反応を誘発するものと考えられます。

[09:10] Wisdom: the word immersive is really thought-provoking here

[09:11] Kunika: 音楽ですと右耳と左耳になるのかな？

[09:12] Fumon: その 考え方は なかった(あとで 考えてみるw

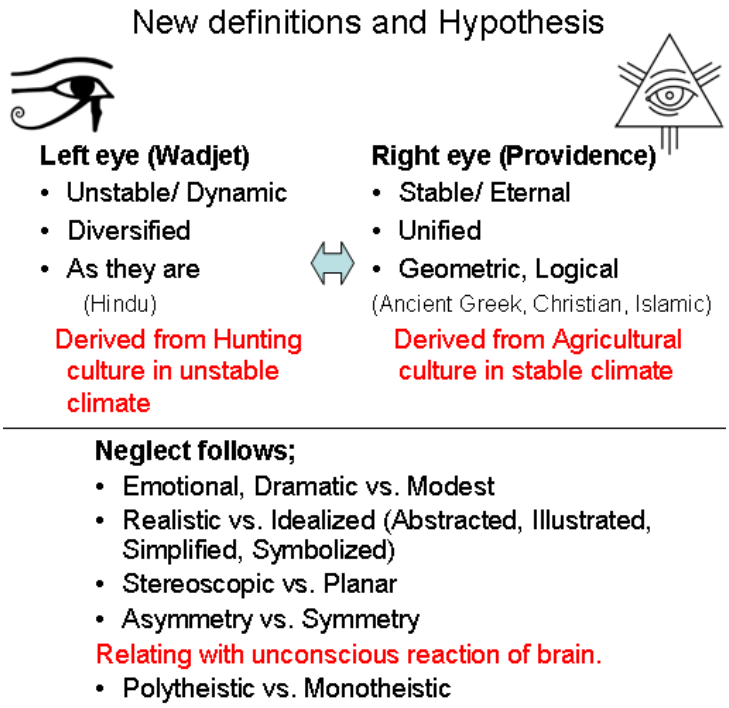
[09:15] Kunika: 音も左右の耳があって立体的に聞こえるから

[09:16] Fumon: オーケストラで 一般的に 左側に 打楽器が 配置されるのは 何か理由があるのかもですね w

(Yan: 左脳と右脳は繋がってるので、左脳と右脳は比喩だし、右目と左目、右耳と左耳も結局は比喩でしょう。眼球運動は文字を書く方向の影響を受けるように、音楽では楽譜を書く方向の左から右があるかもしれない。ピアノの鍵盤が左が低音なのに、オーケストラは低音が右なので逆。ピアノは左手がリズムだから、オーケストラも左が打楽器かな。)

（Yan: Kunika comments about Left ear vs. Right ear for Music. I reply that Left and Right is in the end metaphors as Wisdom's comment. But piano's scale is left to right, or Left hand of piano plays rhythm part affect arrangement of orchestra.）

(New definitions and Hypothesis)



Yan: 最後に、私は新しい仮説のもとで「左目 vs. 右目」の新しい定義を提案します。
新しい定義は、「狩猟文化 vs, 農業文化」に基づくことにして、そこから脳の反応に由来して軸のどちらにも影響を与えるものは除外しました。

Yan: アートは多神教であるか一神教であるかに影響されるのではなく、世界をどう解釈しているかに影響される思います。 だから、古代ギリシャは多神教ですが、「ミロのビーナス」や「ニケ」のような例外はあるものの、私は右目の側に置く方が良いと思います。

Yan: もちろん、これらの新しい定義はまだ混乱していますが、もとちゃさんは、定義が曖昧な方が新しい議論を始められると言っていました。 彼女は訪問者の投票によってポジションを変える仕掛けを考えたいと言っていました。

[09:14] Beragon: interesting paradigm

[09:14] Wisdom: yes

(Last mystery – Buddhism)

Last mystery – Buddhism (1/2)

Buddhism asserts that;

- Everything is impermanent (無常), but also asserts that there is no permanent self or soul in living beings.
- All living beings are reincarnated (転生/輪廻) eternally.

So, “Eternity” of Buddhism is different mean of Christianity.

Yan いよいよ最後に残された謎。 仏教美術をどこに置けばよいか？

仏教は永久的な自己または魂はなく、すべての生き物は生まれ変わると言っています。

このような世界の解釈は、目のどちらからも少し違っています。

Yan: 仏教は永久を否定します。 これは左目の側です。

しかし、仏教は、生きているものはすべて生まれ変わりつつも存在し続けていると言っています。 これは右目の側です。

(Asura and Bosatsu)

Last mystery – Buddhism (2/2)

Asura in Kōfuku-ji

Bosatsu-hanka in Chugu-ji

Yan: この 2 つの彫像は、日本で最も人気のある仏教彫像です。 残念なことに、これらの彫像については写りのよいフリーの写真はほとんどありません。

Yan: もとちゃさんは阿修羅像を右目の側＝永遠の側に置いたのに対し、2 つの有名な古代ギリシアの彫像を左目の側に置きました。
あなたはどのように思いますか？

[09:15] Beragon: is Buddhist reincarnation the same as Hindu reincarnation?

[09:17] Beragon: I think in Hindu you can escape reincarnation by achieving nirvana through good karma.

(Yan: I surprised how similar Buddhism and Hindu in reincarnation and liberation. https://en.wikipedia.org/wiki/Buddhism#Liberation It is not strange because Buddhism and Hindu have same parent. But impression of both statues are quite different. Hindu is dynamic and rich diversity. On the other hand, Buddhism is tranquil and unified. In some Buddhism statues, even the influence of ancient Greek can be seen.)

[09:15] Chantal: Knows too little about religions

[09:15] Fumon: voting system? or analytical algorithm? about right-left eye paintings:)

(Yan: Yes, she thought so.)

[09:18] Arianne: Motoko suggested a story, but she also stated that people should make own theory by their view, voting is one of her further suggestion

[09:18] Chantal: That will be interesting to see, Arianne

Yan: これで今日のプレゼンを終わります。もとちゃ美術館を歩きまわって、左か右か考えてみてください。 このボードをクリックすると、関心のある時代にテレポートできます。すると周辺チャットに目的地が表示されます。
もし違うような気がした時は、いつでも私にコメントを送ってください。
ありがとうございました！

[09:18] Beragon: Can we acquire copies of the art works here?

(Yan: Basically, I use Wikipedia or WikiArt images. So please teleport to http://maps.secondlife.com/secondlife/The%20Science%20Circle/118/137/2548 and take copy if you can. When you can't due to my inadequate setting for permission, please contact me.)

[09:19] Chantal: Yan... points at Beragon's question

[09:19] Fumon: .•*❤¨`•Applause•´¨`❤*•.

[09:19] Beragon: A*P*P*L*A*U*S*E!!!

[09:19] Arianne: Sure you can

[09:19] ryofuz: 88888888888888888888888888888888888888888888888888888888888

[09:19] Talliver: ty

[09:19] Beragon: cool °°◡

[09:19] Arianne: nice work ! Yan

[09:20] Jes: awesome Yan, thanks! :))

[09:20] Tagline: Thank you

[09:20] Fumon: Las Meninas is the wonderful object for 3DCG in SL by motoko.

(Yan: Motoko's interpretation of Velázquez's painting. Please teleport to http://maps.secondlife.com/secondlife/The%20Science%20Circle/204/75/3639)

[09:21] Arianne: https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%BB%E3%83%A1%E3%83%8B%E3%83%BC%E3%83%8A%E3%82%B9

[09:21] Chantal: Please send me a transcript, Yan?

[09:21] Lyr Lobo: Thank you *grins* fascinating

[09:21] Yan: https://docs.google.com/document/d/1oWJCrLe7bmHgplhB1OAvFy4HuE9yEYKyrN9F7oexgkU/edit?usp=sharing

[09:21] Chantal: :))

[09:22] Chantal: Yes, it is an interesting view on art, Yan, I hope you can continue this!

[09:22] Arianne: applause

[09:22] Tagline: Thank you!

[09:23] Chantal: Applauds :)) and Thank you

[09:23] Chantal: we have a lot :))

[09:24] Yan: yw all

[09:24] Lyr Lobo: wonderful work

[09:24] Yan: ty Lyr

[09:24] Arianne: I think Motko is a happy girl , who can imagine someone follow our work after our death .

[09:25] Yan: She deserves it.

[09:26] Arianne: もとこさんは幸せな人です。ちゃんと考えや仕事を引き継いでくれる人がいて

[09:26] Jes: Waves all, hope you enjoyed :))

[09:26] Jes: and thank you again Yan

[09:26] Lyr Lobo: yes, thank you *Grins*

[09:26] Chantal: Yan... might be an idea to create a webpage on sc's about Motoko's work with a slurl

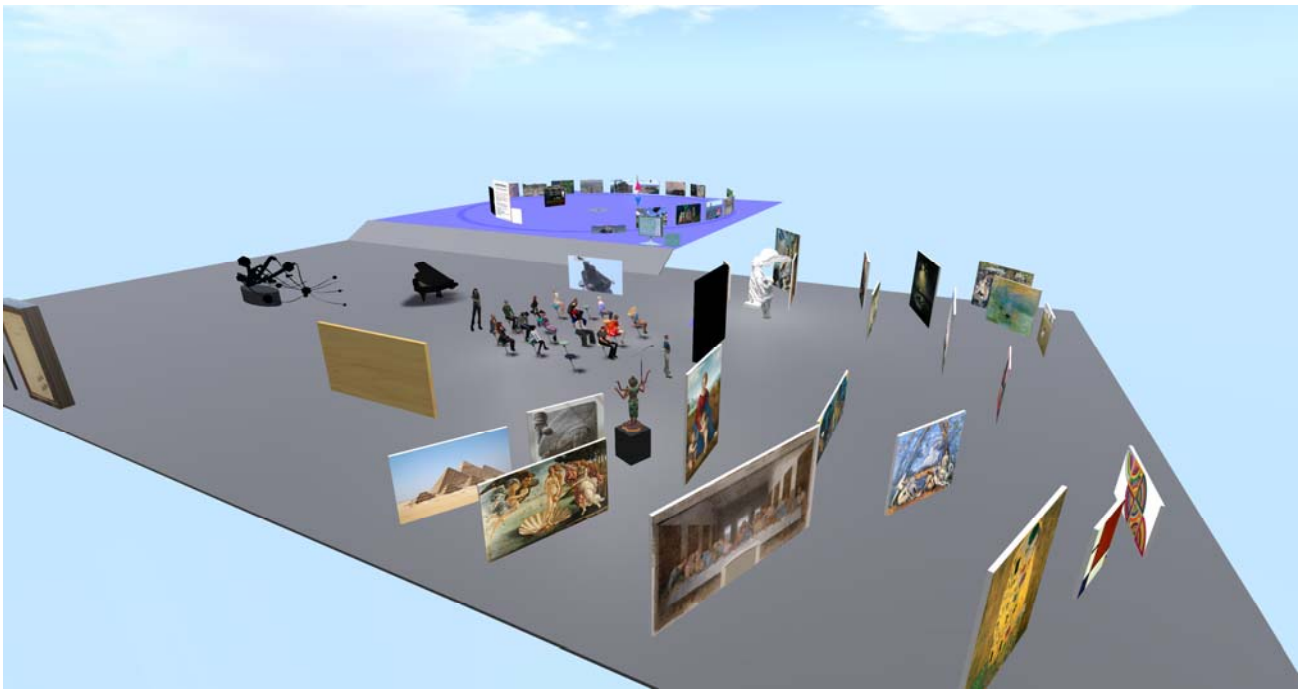
[09:27] Yan: Chan, welcome your idea

[09:28] Yan: I'll think about her memorial page.

[09:27] Yan: できれば、なくなる一年前に会っていればと思うね

[09:27] Arianne: 惜しい人を亡くしたものです

[09:29] Arianne: You are suitable guy to do that



(References)

•Semir Zeki, "*INNER VISION: An Exploration of Art ant the Brain/ 脳は美をいかに感じるか*", 1999

•Donis A. Dondis, "*A Primaer of Visual Literacy/ 形は語る*", 1973

•Gustav René Hocke, "*Die Welt als Labyrinth. Manier und Manie in der europäischen Kunst/ 迷宮としての世界ーマニエリスム美術*", 1957

•René Huyghe, "*Dialogue Avec Le Visible/ 見えるものとの対話*, 1955 (Language vs. Visual impression, Logic vs. Emotion)

•Heinrich Wölfflin, "*Principles of Art History/美術史の基礎概念*", 1915

All images are from WikiMedia or WikiArt.